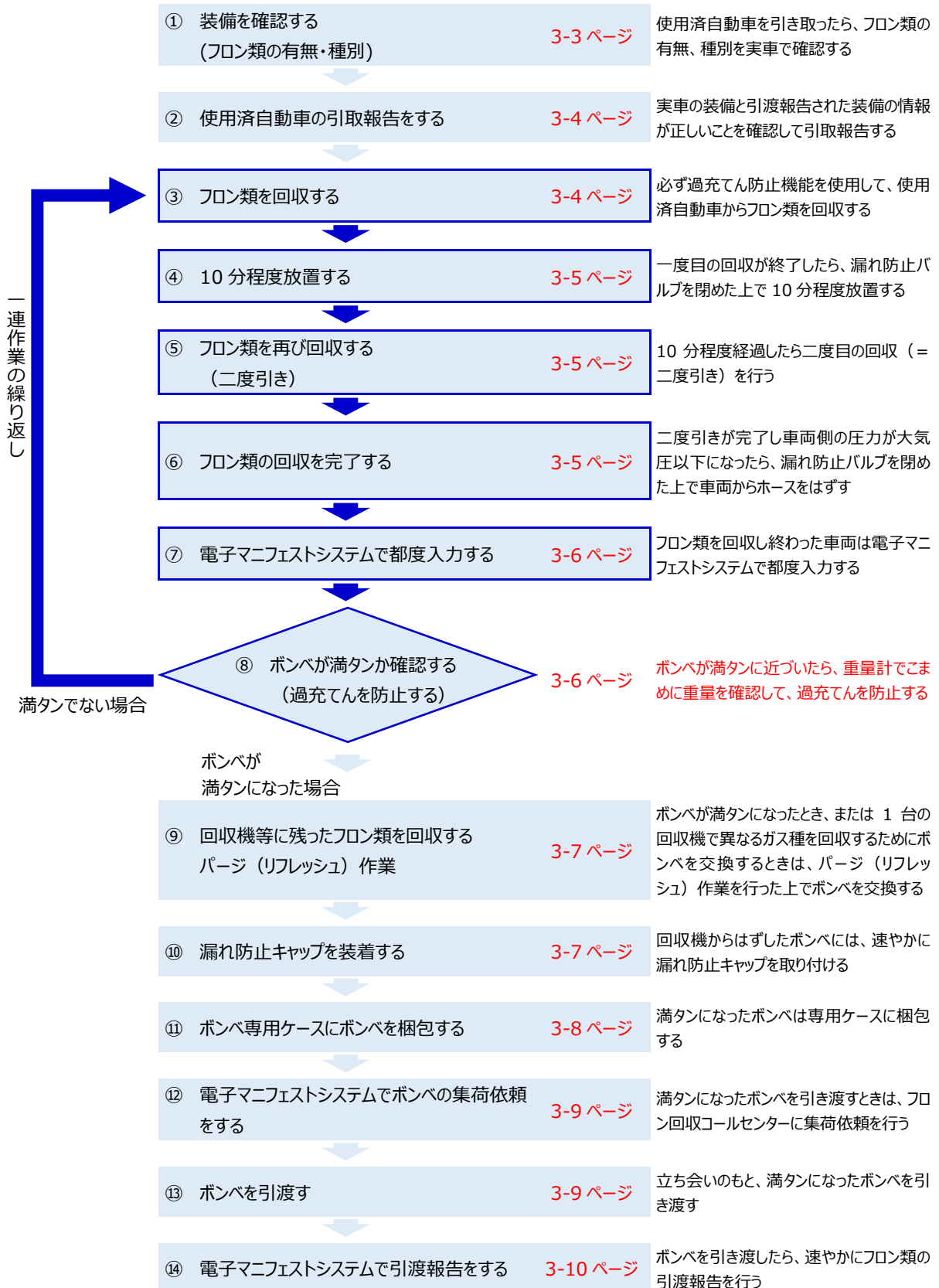


3章 回収作業の手順

	ページ
1 作業の流れ.....	3-2
2 フロン類回収の手順	3-3
3 引渡しの手順	3-9

1 作業の流れ

フロン類の回収業務は、以下の手順で実施してください。（指定着払い方式を利用した場合）




2 フロン類回収の手順

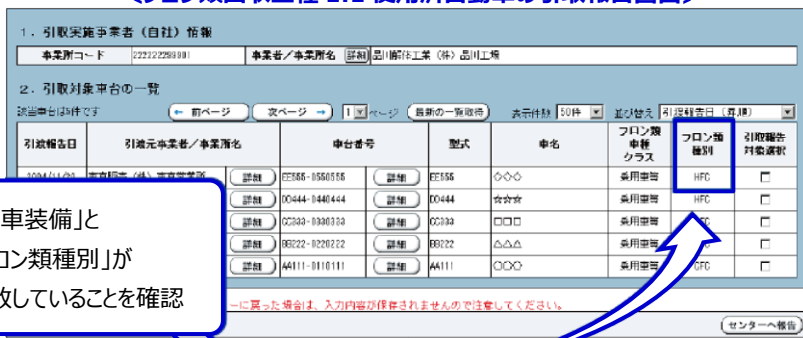
指定着払い方式を利用した場合

① 装備を確認する（フロン類の有無・種別）

【実車装備】



【フロン類回収工程 1.1 使用済自動車の引取報告画面】



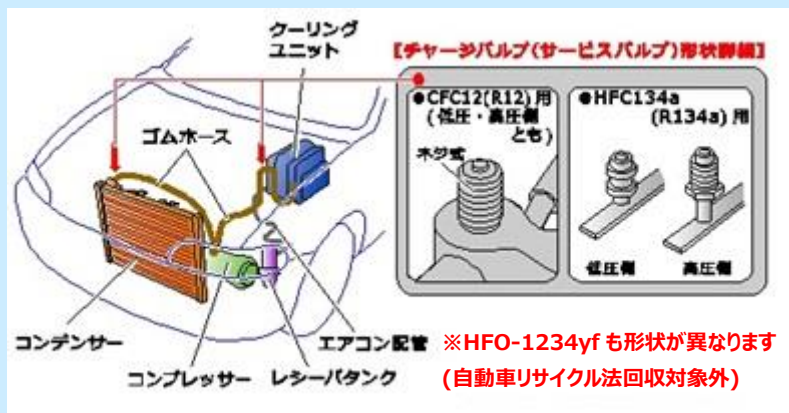
「実車装備」と「フロン類種別」が合致していることを確認

引取報告日	引取元事業者/事業者名	車台番号	型式	車名	フロン種別	引取報告対象車種
2024/11/05	東京自動車(株) 東京自動車	EE565-0565565	EE565	○○○	常用車種	HFC
		EO444-0440444	EO444	夜会車	常用車種	HFC
		EO333-0330333	EO333	○○○	常用車種	HFC
		EO222-0220222	EO222	△△△	常用車種	HFC
		EA111-0110111	EA111	○○○	常用車種	HFC

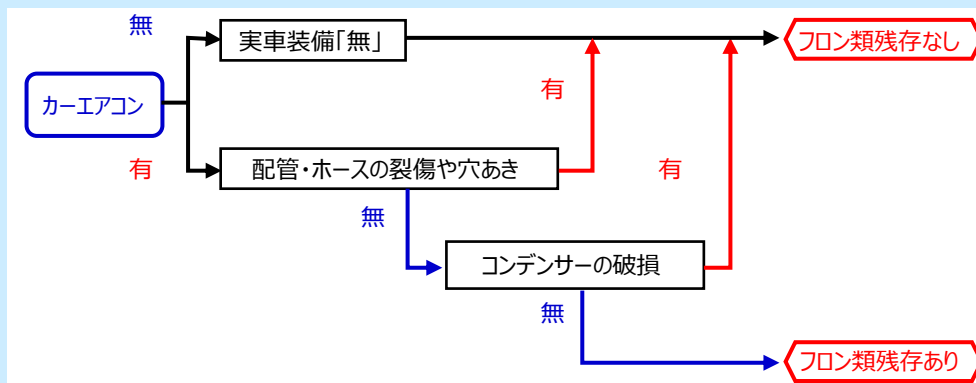
「実車装備」と「フロン類種別」が一致していないときは
引取業者に連絡し、装備またはフロン類種別の修正を依頼してください。

ポイント

- 引き取った使用済自動車が『フロン類回収工程』で確認できない場合は、『引取工程』でフロン類装備「無し」で引渡報告されている可能性があります。この場合は、引取業者にご確認ください。
- フロン類残存の判断方法



- 事故等でフロン類の配管・ホースの裂傷や穴あき、コンデンサーの破損がなければ、フロン類装備「有」で引取報告!!



② ①に誤りがなければ使用済自動車の引取報告をする 〔フロン類回収工程 1.1 使用済自動車の引取報告〕

1. 引取実施事業者（自社）情報	
事業所コード	事業所/事業所名 経路 ○○フロン類回収業者 ○○事業所
2. 引取対象車台の一覧 該当車台は1台です	
引取報告日	引
XXXX/XX/XX	○引取済

1. 電子マニフェストによる移動報告	
1.1	引取報告 使用済自動車の引取報告
1.2	引渡報告 解体業者への使用済自動車の引渡報告
1.3	引渡先確定済車台の一覧
1.4	荷姿作成 フロン類引渡報告（メーカー直送）
1.5	都度入力・引渡報告 ポンベ・バレットの登録は1.4から、ポンベに車
1.6	回収連絡
1.7	連絡先確定済荷姿の一覧 フロン類回収連絡（発送拠点経由：回収拠点から発送拠点）
1.8	荷姿作成 フロン類引渡報告（発送拠点経由：発送拠点から情報管理）
1.9	荷姿内容変更・引渡報告 バレットの登録は1.8から、バレットにポンベを
1.10	フロン類再利用車台連絡
1.11	再利用連絡済車台の一覧 フロン類再利用車台の連絡

①に誤りが無いことを
確認してから引取報
告をする



③ フロン類を回収する 〔過充電防止機能を有する回収機器を使用して回収〕



※過充電防止機能の詳細については 2-7 ページをご確認ください。

メモ

～過充電防止機能を有する回収機器の例～



ポンベ内蔵式

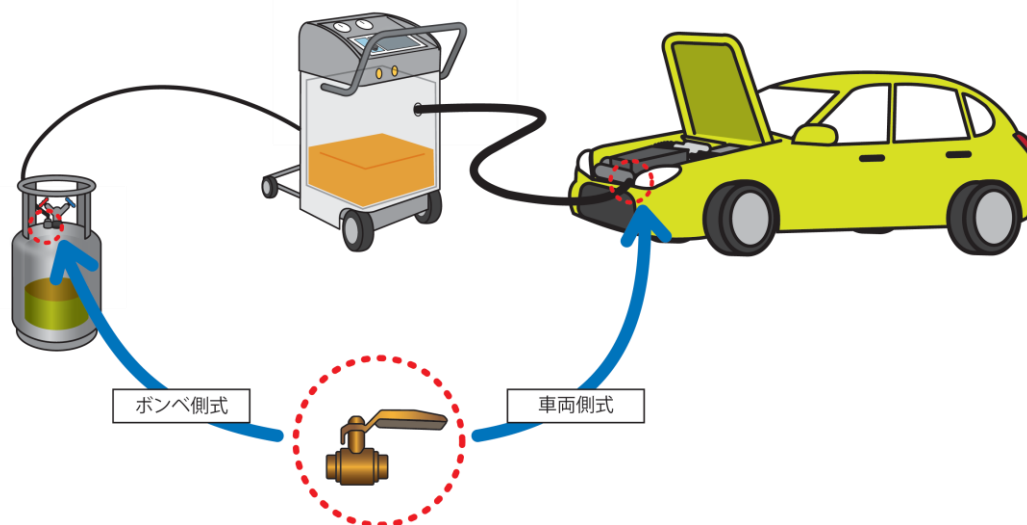
計量器内蔵式

計量器一体型回収機

④ 10分程度放置する

〔漏れ防止バルブを閉めて待機〕

ホースや回収機に溜まったフロン類が漏れないよう、漏れ防止バルブをしっかり閉めて密封した上で放置



⑤ フロン類を再び回収する（二度引き）

〔回収機等のゲージ圧力が上昇したら再度回収〕



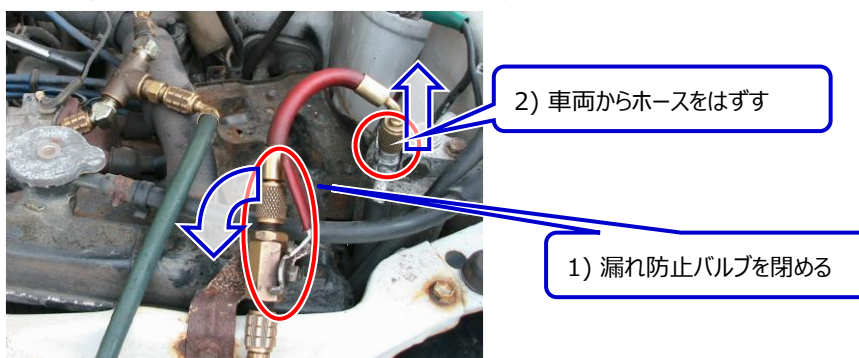
👉 ポイント

放置時間が短いと、オイルに溶け込んだフロン類が完全に気化しきれません。

必ず 10 分程度放置した上で二度引きを実施することで、20～50g 程度回収できる可能性があります。

⑥ フロン類の回収を完了する

〔漏れ防止バルブをしっかり閉めた上で車両からホースをはずす〕



⑦ 電子マニフェストシステムで都度入力する 〔フロン類回収工程 1.5 都度入力・引渡報告〕

1. 電子マニフェストによる移動報告

1.1 引取報告 使用済自動車の引取報告

1.2 引渡報告 解体業者への使用済自動車の引渡報告

1.3 引渡先確定済車台の一覧

1.4 荷姿作成 フロン類引渡報告 (メーカー直送)

1.5 都度入力・引渡報告 ポンベ・パレットの登録は1.4から、ポンベに車

1.6 回収連絡

1.7 連絡先確定済荷姿の一覧

1.8 荷姿作成

1.9 荷姿内容変更・引渡報告

1.10 フロン類再利用車台連絡

1.11 再利用連絡済車台の一覧

1. 引渡実施事業者 (自社) 情報

事業所コード: XXXXXXXXXXXX03 事業者/事業所名: ○○フロン類回収業者 取扱フロン種別: CFC/HFC

2. 引渡先確定済荷姿の一覧

※都度入力をする場合には、「変更」ボタンをクリックしてください。
引渡報告をする場合には、「引渡報告対象選択」をチェックし、「センターへ報告」ボタンをクリックしてください。

該当荷姿は1件です

最終確定日	引渡先事業者/事業所名	荷姿ID	ボンベ・パレット番号	フロン類種別	乗用車等	小型バス	大型バス	計	ポンベに充填された車台数	都度入力 (荷姿内容変更)	確定取消	引渡報告対象選択
XXXX/XX/XX	○フロン類指定引取場所	XX-XXXXXXX-XXXXXX	XXXXX	CFC	3	0	0	3	3	変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

メニューに戻る 確定取消 センターへ報告

3. ボンベ・パレット情報

ボンベ・パレット番号: 33333 荷姿ID: XX-XXXXXXX-XXXXXX フロン種別: CFC 荷姿作成日: XXXX/XX/XX 最終確定日: XXXX/XX/XX

4. 引取報告済車台の一覧

該当車台は3件です

引取報告日	車台番号	型式	車名	フロン類車種クラス	フロン類種別	引取報告日 (昇順)	引渡報告対象選択
XXXX/XX/XX	XXXX-XXXX	XX-XXXX	○○○	乗用車等	CFC		<input checked="" type="checkbox"/>
XXXX/XX/XX	XXXX-XXXX	XX-XXXX	○○○	乗用車等	CFC		<input type="checkbox"/>
XXXX/XX/XX	XXXX-XXXX	XX-XXXX	○○○	乗用車等	CFC		<input type="checkbox"/>

フロン類をボンベに充てんした都度、すみやかに「都度入力」を行ってください。

👉 ポイント

都度入力画面を印刷し、現場作業時のチェックシートとして活用すると、実績の管理を効率的に行うことができます。

⑧ 過充てんを防止する 〔ボンベが満タンに近づいたら、重量計でこまめに重量を確認して過充てんを防止〕



👉 ポイント

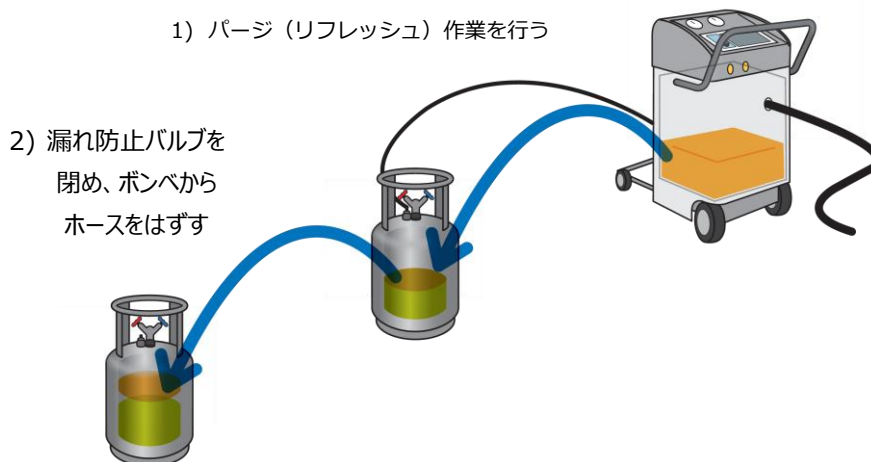
あらかじめ空ボンベの重量を測定し、その空重量とボンベ刻印の『V』以降の数値とを足した値を満タン重量としてボンベに表記しておきます。(2-6 ページ)

毎朝始業時にボンベの重量を測定し 1 日の回収目安を立て、満タンに近づいたらこまめに重量計で確認して、過充てん防止に努めてください。

⑨ 回収機等に残ったフロン類を回収する（パージ（リフレッシュ）作業）

〔回収機やホース内に残ったフロン類をボンベへ充てん〕

ホース内や回収機には 200g 程度のフロン類が溜まっていることがありますので、ボンベが満タンになったとき、または 1 台の回収機で異なるガス種を回収するためにボンベを交換するときは、パージ（リフレッシュ）作業を行った上でボンベを交換します。



⑩ 漏れ防止キャップを装着する

〔フロン類の大气放出防止対策〕

回収が完了し満タンになったボンベは、ボンベのバルブをしっかり閉め、ボンベの充てん口に漏れ防止キャップを装着



👉 ポイント

漏れ防止キャップは無償提供します。提供を希望される場合は 7-2 ページの「漏れ防止キャップ発注申込書」に必要事項をご記入の上 FAX でお申し込みください。

⑪ ポンペ専用ケースに梱包する



注意

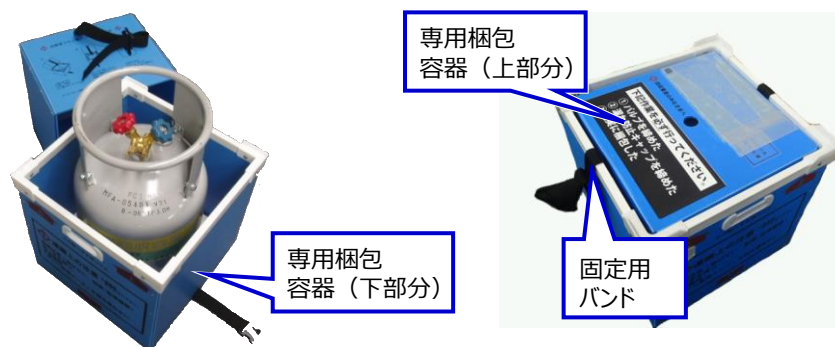
- ・ 大型ポンペを指定着払い方式で引き渡すときは、ポンペ専用ケースへの梱包が必要です。
- ・ 運搬時の転倒等によるフロン類の漏れを防止するため、以下作業を実施してください。
- ・ **ポンペのバルブをしっかりと閉め密封する**
- ・ **ポンペの充てん口に漏れ防止キャップを装着する**
- ・ **ポンペ専用ケースへ確実に梱包する**

〔確実な梱包〕

1) 満タンになったポンペを専用
ケースに収める



2) 専用ケースの上部をかぶせ
バンドで固定する



3 | 引渡の手順

⑫ 電子マニフェストシステムで大型ボンベまたはパレットの集荷依頼をする 〔フロン類回収工程 1.5 都度入力・引渡報告〕

1.4	荷装作成	フロン類引渡報告 (メーカー直送)
1.5	都度入力・引渡報告	ボンベ・パレットの登録は1.4から、ボンベに車台を追加するときは1.5から行います。
1.6	引渡準備	
1.7	連絡先確定済荷姿の一覧	フロン類回収連絡 (発送拠点経由・回収拠点から発送拠点への連絡)
1.8	荷装作成	フロン類引渡報告 (発送拠点経由・発送拠点から情報管理センターへの報告)
1.9	荷装内容変更・引渡報告	パレットの登録は1.8から、パレットにボンベを追加するときは1.8から行います。
1.10	フロン類再利用車台連絡	フロン類再利用車台の連絡
1.11	再利用連絡済車台の一覧	



引き渡す準備ができたボンベの
集荷依頼を行う

メモ

- 集荷依頼は、電話・FAXでも行えます。
各集荷依頼方法の詳細は [2-13 ページ](#) をご確認ください。

ポイント

集荷依頼のときは、フロン回収コールセンターより以下の内容を電話にて確認させていただきます。

- フロン類充てんボンベのバルブ閉栓がされていること
- 漏れ防止キャップの締め付けが行われていること
- ボンベ専用ケースへの確実な梱包がされていること

⑬ ボンベとパレットを引渡す 〔指定引取場所への引渡し〕

引渡しの際は必ず立ち会い、間違ったボンベを引き渡さないこと



ボンベと専用伝票に記載された
ボンベ番号が正しいことを確認する

⑭ 電子マニフェストシステムで引渡報告をする
 [1.5 都度入力・引渡報告で引渡報告を実施]

自社情報
 事業所コード XXXXXXXXXX 事業者/事業所名 [詳細] ○○フロン類回収業者 ○○事業所

1. 電子マニフェストによる移動報告
 1.1 引取報告 使用済自動車の引取報告
 1.2 引渡報告 解体業者への使用済自動車の引渡報告
 1.3 引渡先確定済荷台の一覧
 1.4 荷台作成 フロン類引渡報告(メーカー直送)
 1.5 都度入力・引渡報告 ポンベ・パレットの登録は1.4から、ポンベに車台を追加するときは1.5から行います。
 1.6 回収連絡 フロン類回収連絡(発送拠点経由:回収拠点から発送拠点への連絡)

1.7 1. 引渡実施事業者(自社)情報
 1.8 事業所コード XXXXXXXXXX 事業者/事業所名 [詳細] ○○フロン類回収業者 取扱フロン種類別 OFC/HFC

1.10 2. 引渡先確定済荷台の一覧 ※都度入力をする場合には、「変更」ボタンをクリックしてください。引渡報告をする場合には、「引渡報告対象選択」をチェックし、「センターへ報告」ボタンをクリックしてください。
 1.11 該当荷台1件です 前ページ 次ページ 1 ページ 最新の一覧取得 表示件数 50件 並び替え 荷台ID

最終確定日	引渡先事業者/事業所名	荷台ID	ポンベ・パレット番号	フロン種類別	ポンベに充填された車台数		都度入力(荷台内容変更)	確定取消	* 引渡報告対象選択		
					垂直車等	大型バス					
XXXX/XX/XX	○○フロン類指定引取場所 [詳細]	XX-XXXXXXX-XXXXXX	XXXXXX [詳細]	OFC	3	0	0	3	[変更]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

[メニューに戻る] [確定取消] [センターへ報告]

引き渡し、速やかに引渡報告を行う



処理完了 (JPRS0000)

[メニューに戻る] [ログアウト] [画面印刷] [ヘルプ]

情報管理センターへの報告が完了しました。

引続き移動報告を行う場合は、メニューに戻るのボタンを押してください。終了する場合は、ログアウトのボタンを押してください。